

学校通信『自分に自信と夢を』 第87号 文責 古澤

後期の取組② ～「夢中で学ぶこと」を意識して～ 「確かな学力」の育成 ～分かる授業を目指して～ 特集3

夢中で学び、高め合う児童をめざして ～「生活数理」から、主体的・対話的で深い学びへ～

本校では、上記の研究主題に迫るための研究実践を行っています。具体的な取組の一つに研究授業があります。今号では、学校外から講師を招聘しての授業づくりの教育実践を紹介します。

国語 単元名：なにに 見えるかな

期日：11月4日（水）、学級：1年1組、授業者：中島温子先生

本校では、「相手の話を最後まで聴く」に取り組んでいます。授業では、1年部の先生方が作成した「手本の聞き方動画」で1年生の学習意欲を高め、「聞き方名人」になるために大切なことを考えました。最後のペア学習では、授業で学んだ「受け止める言葉」を使って話していました。



国語 単元名：モチモチの木

期日：11月4日（水）、学級：3年1組、授業者：片岡朋也先生

「モチモチの木」は、臆病な豆太がじさまの危機を救うため、勇気を出して夜の道を駆ける際の心情の移り変わりを読み取ることがねらいです。子どもたちは、互いの考えを出し合い、その内容を片岡先生が用意した教科書の拡大コピーに書き込み、自分自身の読みを深めていました。

国語 単元名：大造じいさんとガン

期日：11月4日（水）、学級：5年3組、授業者：松岡怜奈先生

登場人物の言動や情景描写に着目しながら心情やその変化を読み取りました。課題を「大造じいさんとガンは、今後戦うのだろうか」と設定し、一人一人が根拠を明らかにしながら考えました。登場人物の同じ言動に着目していても、友だちによって捉え方が違うことに気付きました。



算数 単元名：ひきざん（2）

期日：11月11日（水）、学級：1年3組、授業者：松永ゆか先生

（13-9）の計算の仕方を考えました。10から9を引き、残りの1と3と合わせる方法や、13から3を引き、更に6を引く方法など、ブロックや絵などを使って考えました。いろいろな方法を出し合う中で、引き算は10のまとまりをつくるのが大切であることに気付きました。

算数 単元名：かけ算

期日：11月11日（水）、学級：2年1組、授業者：米村りさ先生

かけ算は、効率よく数を数えるために先人が編み出した計算方法です。子どもたちは、米村先生が提示されたドットの数を、自分が知っている九九を上手く使って、様々な方法で求めていました。新学習指導要領で求められている「知識を活用する姿」が、随所に見られた授業でした。



算数 単元名：単位量あたりの大きさ

期日：11月11日（水）、学級：5年1組、授業者：高木英臣先生

広さも人数も違う3つの部屋（A：10畳で6人、B：10畳で5人、C：8畳で5人）の混み具合の比べ方を考えました。畳1畳あたりの人数や一人あたりの畳の広さで比べたり、公倍数を使って比べたりなど、ペア学習等を通して、多様な考えを知り、学びを深め合っていました。